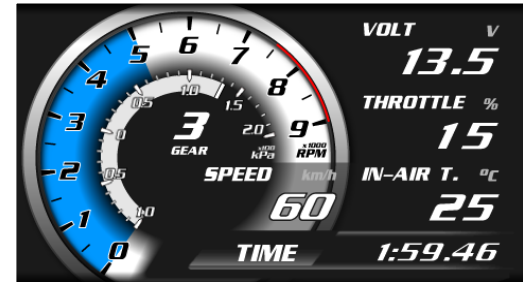
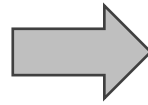


1. ストリートモード 画面デザイン変更

シンプルな配色で視認性の良いバーゲージデザインを採用し、さらにギヤポジションが常に表示されるようになります。



バージョン6.0までのデザイン



[New] バージョン7.0のデザイン

<Ver.6.0からの変更点>

■ギヤポジションの常時表示

デジタルゲージで選択表示していたギヤポジションが、バーゲージ中央にも常時表示されるようになります。

※デバイス設定（ADVANCE / OBD）で設定したデバイスで取得したエンジン回転数と車速を使用します。

設定したデバイスで取得できない場合、「N」表示になります。

■圧縮スケールの採用（9000RPM、11000RPMのみ）

0－3000RPMまでを圧縮し、スポーツ走行で使用する領域をさらに読み取りやすいようにしました。

■パワーバンド表示の削除

シーケンシャルインジェクタステップ設定と同期して表示していた黄色バー（パワーバンド）表示を無くし、レッドゾーンのみ表示にしました。

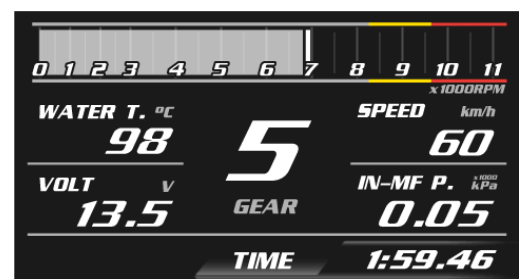
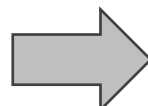
※レッドゾーンの開始位置は、ワーニング設定で設定したエンジン回転数になります。

2. サーキットモード 画面デザイン変更

シンプルな直線バーゲージデザインを採用し、また視認性重視の大きなギヤポジションが常に表示されるようになります。



バージョン6.0までのデザイン



[New] バージョン7.0のデザイン

<Ver.6.0からの変更点>

■ギヤポジションの常時表示

デジタルゲージで選択表示していたギヤポジションが、画面中央にも常時表示されるようになります。

※デバイス設定（ADVANCE / OBD）で設定したデバイスで取得したエンジン回転数と車速を使用します。

設定したデバイスで取得できない場合、「N」表示になります。

■圧縮スケールの採用（9000RPM、11000RPMのみ）

0－3000RPMまでを圧縮し、スポーツ走行で使用する領域をさらに読み取りやすいようにしました。

■デジタルゲージエリアのB表示削除

画面中央にギヤポジションが表示されるため、表示項目を2つ連結した表示方法（B表示）ができなくなります。

3. ログデータ自動記録（オートタイム計測）記録開始条件の修正

G-SPEEDによる記録開始条件を微調整しました。

4. GNSSを使用した時計表示の追加

タイム計測機能を使用していないとき、マルチインフォメーションディスプレイに現在時刻を表示します。